



## ミニ展示「ひなまつり」

七段飾り・御殿飾りなど、昔のおひなさまを展示します。

**とき** 2月1日(日)～3月9日(日)

**ところ** 1階エントランス

### ●おひなさま風着付け体験

あなたもおひなさまになれるかも。(身長90～130cm程度)

★県内博物館を巡るひなまつりスタンプシールラリーに参加しています。



## 招きネコ版画を配布します

江戸時代の版木で刷った良い出会いを招く開運のネコ版画をお配りします。  
※先着 70部

**とき** 2月22日(日)  
午後1時～4時

**ところ** 1階ロビー

**参加費** 無料  
※申し込み不要



館長の  
ひなまつり



小林 龍二

唐突ですが、保育園や幼稚園の先生は単純明確に偉いと思います。たまの休みに自分の子どもを1日相手しているだけでも泥沼のごとく疲労するのには、保育園や幼稚園の先生は、まだしっかり会話もできない子を1人だけで多く人数を毎日お相手してくださっていらっしゃる。さらに推測ではありますが、使える予算が少ない、園長先生がすぐ怒る、といった様々に渦巻く問題も抱えながら仕事をしているに違いなのです。頭が上がりません。感謝しかない。足を向けて寝られない。仕事とはいえずどもが大好きで責任感がなければできない職業だと思えます。水族館がもっと儲かったら、市内全園に寄付としたい。同じようにお母さんたちの苦労や気持ちもよくわかる。毎日本当にご苦労様です。ここに市内の父を代表して深く感謝の意を申し上げます。ありがとうございます。

そんな話をすると、いやいや！飼育員さんたちはもっとたくさん大事な命を毎日扱っているじゃないで

すか！と先生たちは言われるのですが、いやいや！水族館の生き物はまづもって文句を言わない。以前、水族と話ができたらもっと彼らの主張がわかるのにと書いたことがありますが、子どもたちを見るとこれは訂正せざるを得ない。魚にはせひ黙っていてほしい。水族たちの親から要望や文句もないし、もし文句があっても水槽の外へ出てきて詰め寄られたりしない。オムツも替えなくて良い。ご飯は健康やバランス考えた配合飼料が良い。ブランコや滑り台で遊ばなくてもよい。逆上がりの練習もさせなくてよい。幸せな職業である。申し訳ない。いやいや、楽をし過ぎなのかもしれません。もっと頑張らないとなあ。



駄々をこねる子も、モンスターペアレンツもいないのです。水族は素敵。